

主要損害保険会社の令和2年9月期決算の概要

1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、国内事業では自賠責保険の料率引下げ等により減収したものの、海外事業でのレートアップ等により、前年同期に比べやや増加。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、国内事業では自動車事故の減少等により保険金支払いが減少したものの、海外事業での新型コロナに関係する保険金支払いの発生等により、前年同期に比べ減少。

（単位：億円）

	平成30年9月期	令和元年9月期	令和2年9月期	前年同期比
正味収入保険料	51,499	52,366	52,474	108
経常利益	1,782	3,195	3,021	▲ 173
特別損益	▲ 206	▲ 801	▲ 333	467
親会社株主に帰属する中間純利益	1,223	3,240	1,986	▲ 1,254

2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、株価回復に伴い、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前年度末に比べ26.8%ポイント上昇。

（単位：%）

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和2年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	756.6	747.3	774.1	26.8Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。